

【市からのお願い】広報もとみや号外は、地震災害、放射能問題など市民の皆さんに広く周知するものについてお知らせしています。回覧される場合は、なるべく早く次の方に回覧していただきますようお願いいたします。

根本復興相、本宮市に来訪

原木しいたけ生産者の要望を聞く

3月2日、原木しいたけの生産に欠かせない「ほだ木」の状況について調査するため、根本復興相が本宮市を訪れ



▲ビニールハウス内に保管しているシートをかけられたほだ木を前に、国分会長(左)から状況を聞く根本復興相(左から2人)

ました。

これは、昨年9月に農林水産省が「ほだ木」の指標値を改正し、それまでの1キログラムあたり150ベクレルから50ベクレルに引き上げ、これを上回るものについては原則処分することになったため、生産者の声を直接聞くために訪れたものです。

根本復興相は、白岩の福島県原木椎茸生産者の会の国分進会長宅を訪れ、ビニールハウスに保管しているほだ木の状況について、国分会長から説明を受けました。国分会長は「ここは立派なしいたけができる産地。山林の除染としいたけが生産できる環境づく



(写真上)高松市長(左)が調査に同行しました

りを同時に進めていただきたい」と根本復興相に要望しました。

これに対して根本復興相は、「場所によって状況が異なるので、詳細な調査が必要である。原木しいたけの状況は理解しており、問題に取り組みたい」と応えました。

調査に同行した高松市長は「原木しいたけの問題は、ある意味、福島原発事故被害の象徴である。除染を進めるうえで、ガンマカメラが有効で、市でもリリースできるようにお願いしたい」と根本復興相に要望しました。

住宅除染の実施状況

■和田地区完了は約60%

和田地区における住宅除染の2月末時点での進捗状況は作業完了が270件で約60パーセントとなっています。

また、作業中のものを含めた進捗率は、314件で

約70パーセントとなっています。

■長屋地区で説明会開催

2月19日、20日の両日、長屋地区の住宅等除染にかかる説明会を各行政区の集会所で開催しました。

説明会では、除染の方法や、一時保管の方法などについて説明し、市民の皆さんに協力をお願いしました。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター

☎63-2682



▲和田2区の住宅除染の様子。重機で表土を剥いで、フレコンバッグに詰め込んでいます

行政区長、伊達市の仮置き場を視察

住宅などの除染作業を実施するためには、作業により発生する土壌などを一時保管するため仮置き場の確保が課題となっております。

このため、市では行政区長の皆さんを対象に、2月16日に、仮置き場の設置が進んでいる伊達市を視察し、その構造や設置までの経過など概要を聞くために視察研修を行いました。

■設置済みの仮置き場を視察



道路をはさみ民家のすぐ向かいに設置された伊達市の仮置き場

伊達市の担当職員の説明では、市有地に設置する案で住民説明会を行いました。周辺住民からの同意を得られず、数回にわたり区長会議を開催して協議をしたとい

市では仮置き場の候補地を探しています!!

市では、各大字地区で実施する住宅などの除染作業により発生した土壌などを一時的に保管するため、仮置き場を整備する必要があります。その整備には、用地の確保が不可欠であり、地域の皆様のご理解とご協力をお願いしています。

仮置き場の候補地の情報などがありましたら、ご連絡をお願いします。



市役所で行われた意見交換会の様子

■視察後に高松市長と意見交換

視察後、行政区長の皆さんは本宮市役所で、市長と意見交換を行いました。行政区長の皆さんからは、仮置き場の設置方法、仮置き場の選定状況などの活発な意見交換が行われました。

また、本宮市で計画している仮置き場は、フレコンバッグ設置後に覆土するものですが、伊達市では覆土せず遮水シートを被せるだけです。これは線量が4メートル離れると16分の1になる計算によるといわれています。

◆問い合わせ先

放射能除染・

モニタリングセンター

☎63-2682

森まさこ大臣に要望活動

高松市長は、2月22日に内閣府特命担当大臣(少子化対策・消費者および食品安全・男女共同参画担当)である森まさこ大臣を訪ね、農産物の風評対策をはじめ、子育て支援、教育施設の除染対策、学校給食の放射性物質測定などに関する財政的支援について要望しました。

風評被害対策について、森大臣は「安倍総理からはしっかり対応するよう言われている。全閣僚が復興大臣であるとも言われており、福島でしっかり対応することが、全国のモデルになると考えている」と話しました。



森大臣(右)に要望活動する高松市長

自民党福島県議に要望書提出



佐藤憲保県議(右)に要望書を手渡す高松市長

高松市長は、2月14日に福島県自民党ふくしま復興本部から本宮市役所に来訪した6人の県議会議員に、早期復興のため必要な施策や財政的支援などを求めた要望書を手渡しました。

福島県自民党ふくしま復興本部は、昨年12月18日に発足したもので、被災者や自治体からの要望を、党本部や復興庁などに働きかけて政策実現に結びつけることを目的に活動しています。

参加した県議を代表して佐藤憲保県議は「意見を交換しながら情報を共有し、党本部、政府に働きかけたい」と話しました。

柿の木を植えよう!

本宮一中、白沢中で柿の木プロジェクト

平和の象徴として、長崎で被爆した柿の木の2世の木を世界各地に植えるという「柿の木プロジェクト」が行われました。

プロジェクトを進める樹木医の海老沼正幸先生と東北芸術工科大学の宮島達男副学長から説明を受け、3月8日には白沢中の生徒がスマイルキッズパークに、3月9日には本宮一中の生徒や小学生がえぼかで柿の木を植えました。



浪江町の皆さん ありがとう

白沢保育所と交流

和田石上仮設住宅にお住まいの浪江町の皆さんは、すぐ向かいにある白沢保育所の子どもたちと日ごろから交流しています。

浪江町の皆さんは、白沢保育所へ折り紙、布ぞうりや牛乳パックで作った椅子を寄附していただいたり、保育所周辺の除雪をボランティアで行っていただくなど交流を深めていただいています。

白沢保育所の子どもたちも、交流を楽しみにしています。



復興の軌跡／写真で紹介

震災から2年が経過し、被災した公共施設の復旧工事完了したものの工事中のもので、主なものをご紹介します。(現況は2月末撮影)

白沢保育所の法面



青田地区の下水道管隆起



青田地区道路陥没



農産物のモニタリング状況について

本宮、白沢、荒井の3カ所で行っている農産物の放射性物質の2月の検査結果をお知らせします。
 なお、きささげ（※1）など乾燥植物で線量の高いものがありました。これらを摂取する場合は、必ず検査を受けて基準値の1キログラムあたり100ベクレルを超えたものは摂取しないようにしてください。

■市内産自家用農産物持込み全品目 【平成25年2月】

	品名	件数	検出された農林水産物の内訳		
			検出数	セシウム最小値	セシウム最大値
1	大豆（青豆）	7	3	12.47	33.70
2	キャベツ	5	1	16.70	16.70
3	大豆（白豆）	5	4	11.96	76.30
4	大豆（黒豆）	3	3	10.22	35.20
5	干柿	3	3	10.18	105.06
6	白菜	3	0	—	—
7	大根	2	0	—	—
8	たらの芽	2	0	—	—
9	ブロッコリー	2	0	—	—
10	ほうれん草	2	0	—	—
11	切干大根	2	0	—	—
12	豆（ささぎ豆）	2	0	—	—
13	白米（H23年度）	2	0	—	—
14	きささげ（※1）	1	1	400.35	400.35
15	日々草	1	1	55.00	55.00
16	大豆	1	1	11.48	11.48
17	小豆	1	1	11.17	11.17
18	楮	1	0	—	—
19	オータムポエム	1	0	—	—
20	玄米（23年度米）	1	0	—	—
21	梅干	1	0	—	—
22	野ブドウ酒	1	0	—	—
23	キウイフルーツ	1	0	—	—
24	カリフラワー	1	0	—	—
計		51	18		

※1「きささげ」は、河川敷など湿った場所に生育する高木の実で、乾燥させ薬草として利用されます。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター

☎ 63-2682

内部被ばく検査は

お済みになりましたか？

ホールボディカウンターによる内部被ばく検査実施中です。

3月4日に岩根地区の方の通知を最後に、全地区の方へのご案内を行いました。

2月末現在で検査を終了した方は、13,256人です。まだ検査を受けていない方は、保健課健康増進係に予約申し込みをしてぜひ検査を受けてください。

◆問い合わせ先

保健課（えぼか内）
健康増進係

☎ 63-2780



水道水のモニタリング検査結果について

市の水道水については、週3回（月、火、金）検査を行っており、放射性物質は検出されていませんので安心してご利用ください。

◆問い合わせ先

上下水道課
☎ 33-1111（内線119）

井戸水のモニタリング検査結果について

飲用の井戸水の測定依頼があった場合は、専門機関へ依頼し、測定を実施していますが、現在まで放射性物質は検出されていません。

なお、検査にかかる費用は無料となっています。

◆問い合わせ先

放射能除染・モニタリングセンター
☎ 63-2682